

安全マニュアル・安全管理チェックシート
新型コロナウイルス感染防止対策編 Ver.3

2021 年 5 月 12 日

一般社団法人日本森林インストラクター協会

構 成（目 次）

第1部 森林インストラクター活動における新型コロナウイルス感染防止対策について
(2020.8.6改訂、2021.5.12再訂)

第2部 新型コロナウイルス感染防止対策 安全管理チェックシート
(2020.8.13作成、12.2改訂、2021.5.12再訂)

※赤字部分を改正

はじめに

この安全マニュアル及び安全管理チェックシート（新型コロナウイルス感染防止対策編）は、森林インストラクターが、参加者に子どもが含まれる森林体験活動を企画または指導する場合に活用することを想定して作成したものです。

第1部の森林インストラクター活動における新型コロナウイルス感染防止対策について（2020年8月6日改訂）をもって、当面の安全マニュアルとします。

また、第2部の安全管理チェックシートは、子供たちが活動に参加する場合を想定し、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々な森林体験活動においてチェックすべき項目を網羅的にリストアップしたものです。

2020年12月2日公表の「安全マニュアル・安全管理チェックシート新型コロナウイルス感染防止対策編（案）」（改訂版）を、特に、子供が参加する場合の企画を想定し、文部科学省が公表している「**学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル ～「学校の新しい生活様式」～（2021.4.28 Ver.6）」**の感染症対策に沿って、再訂したものです。

今後、新たな情報や知見が得られた場合には、随時見直しを行うこととします。

安全管理チェックシートの利用に当たっては、実際のイベントに即して不要なチェック項目を削除したうえで活用することを想定しています。

第1部 森林インストラクター活動における新型コロナウイルス感染防止対策について

(2021.5.12 改訂)

一般社団法人日本森林インストラクター協会（略称F I J）

新型コロナウイルスの感染防止対策については、業種ごとに感染防止対策のガイドラインが発表されているところでは、

森林インストラクターの活動にあたっては、これまでに公表されている、下記の業種のガイドライン等に十分留意の上、地域の実情を加味し、新型コロナウイルス感染防止対策に遺漏のないよう対処されるようお願いいたします。

特に、子供たちを対象とする森林体験活動の実施においては、各都道府県または市町村が定める新型コロナウイルス感染症対策及び利用する施設の方針を遵守することを前提に、次の事項に留意することとします。

(1)実施エリアの自治体（保健衛生部局）と適切に連携すること

(2)学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～（2021.4.28 Ver.6）の感染症対策に留意して事業を実施すること
学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～（2021.4.28 Ver.6）（mext.go.jp）

(3)FIJ安全管理マニュアル・安全管理チェックシート（2021.5.12 改訂）による安全対策を講じること
<http://www.shinrin-instructor.org/safety.html>

併せて、関係する業種のガイドライン等を活用し、参加者の年齢、人数、活動内容に応じた、感染リスク回避の対策を講じるよう特段の配慮をお願いします。

記

【1】令和2年5月28日（6月12日改訂） 公益社団法人国土緑化推進機構

「森林内での活動における新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応及び活動継続に関する基本的なガイドライン」

森林内での活動における国土緑化推進機構の新型コロナウイルス感染症対策に関する基本的な指針について（一部更新6月12日） | 緑の募金（green.or.jp）

詳細は、上記のサイトを参照してください。

【概要等】

本ガイドラインにおいては、森林内での活動（森林ボランティア活動、森林環境教育活動、自然観察会、森林浴、ウォーキング等）において新型コロナウイルス感染症の患者が発生した時に、保健所（感染症担当）と連携して、森林内での活動の主催者として参加者等（一般参加者、スタッフ）の健康保護とともに活動継続を図る際の基本的なポイントをまとめたものです。このガイドラインは新たな知見により更新するとしています。

特に①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）という3つの条件（以下「三つの密」という。）のある場合はリスクが高いことに改めて留意し対策を講じる必要があるとしています。

森林は密閉空間ではありませんが、森林内での活動の前後も含め、意図しないところで「三つの

密」の条件が整ってしまう場合もあり、これらも予測して予防対策を検討する必要があるとしています。

責任者は参加者の詳細な名簿を事前に作成し、情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知し、併せて、これら個人情報の取扱に十分注意する旨についても周知、事前の詳細な健康チェック、感染防止資材の携行、森林活動を欠席させ、必要に応じて保健所に連絡するなど対策を講じることとしています。

【2】令和2年5月27日 公益社団法人日本環境教育フォーラム NPO 法人自然体験活動推進協議会

一般社団法人日本アウトドアネットワーク

「自然体験活動・自然教育・野外教育・環境教育を実施している事業者（以下（自然学校等）における新型コロナウイルス対応ガイドライン（第1版）」

<https://jeef.or.jp/2020/05/30390/>

詳細は、上記の URL のサイトを参照してください。

【概要等】

本ガイドラインにおいては、各自然学校等においては、施設の規模や業態等を勘案し、各自然学校等の実情に合わせた対策（移動、食事、宿泊を含む）を講じることとしています。そして、職員等の事業に係るすべての人に対して、感染防止対策の重要性を理解させ、日常生活を含む行動変容を促す。

また、このガイドラインは、最新の新型コロナウイルスの予防に係る専門家の知見、利用者の要望、事業者側の受入体制等を踏まえて、必要に応じて見直すこととしています。

具体的な内容としては、参加者数は総数で50名以内とし、対象年齢により、定員数を変える。また、幼児、小学生が対象である場合は小グループに分けることを工夫する。移動に貸し切りバスを使用する場合は、参加者の家族を含む事前の健康調査と定期的な換気、座席の利用等を工夫するなどされています。

【3】令和2年5月14日（令和2年10月2日一部改正）公益社団法人全国公民館連合会

「公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」、令和2年10月2日一部改訂 Ver3)) を踏まえるなど、開催する会場に沿った新型コロナウイルス対応ガイドラインも参考に対策を講じます。

[全公連（トップ） \(kominkan.or.jp\)](http://kominkan.or.jp)

詳細は、上記のサイトを参照してください。

【概要等】

本ガイドラインでは、館内でのマスク着用を徹底し、「三つの密」を徹底的に避けること、室内の換気や人と人との距離を適切にとることなどをはじめとして基本的な感染対策の徹底等を行うことについて施設管理者に対して強く働きかけを行うとし、全国の公民館について、館を開放する場合の前提となる感染予防対策に関する基本的事項を定めたものです。

具体的な対策の内容としては、待機時の密集を防止するための来館可能時間、来館可能者数の制限（来館待機列の設置等）、館内各室の着席数の制限（椅子の数を減らして間隔を空ける、互い違いに着席する等）、日時指定の予約、大人数での来館の制限等を行うこととされています。

【4】 令和2年5月24日 山岳医療救助機構

「CDC発信に基づいた登山再開に向けた知識 登山実践編」

https://sangakui.jp/data/wp-content/uploads/tozan_knowledge_practical0524s.pdf

詳細は、上記のURLサイトを参照してください。

(概要等)

本ガイドラインでは、下記の項目について解説しており、また、今まで「こんにちは」と言葉であいさつしていましたが、今後は、あいさつの代わりにマスクをするなどの「思いやり」を表現する気持ちが大切としています。

1.計画時点

2.家から登山口まで

3.登山中

① 携行すべき装備、② マスクとソーシャルディスタンス、③ 手指消毒、④ 登山装備やギアの消毒、⑤ 気を付けるべき行為、⑥ クライミングについて

4.宿泊 ① テント泊、② 山小屋泊

5.山で発生する病気の徹底した予防

6.新型コロナウイルス感染が疑われる/発生時 ① 山小屋で ② 登山中

7.怪我や体調不良の人に出会った時の対応

8.グループ登山時の注意点

9.救助要請時の心得

【5】 令和2年5月14日(5月21日一部改訂)

一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 一般社団法人全国旅行業協会 (ANTA)

旅行業における新型コロナウイルス対応ガイドラインについて (第1版) 一部改訂について

[新型コロナウイルス感染症関連情報 | JATA \(jata-net.or.jp\)](https://www.jata-net.or.jp/news/20210514_01)

詳細は、上記のサイトを参照してください。

(概要等)

政府の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の提言を受け、新型コロナウイルス感染終息までの、旅行業における当面の対策をとりまとめたもので、最新の知見や利用客の要望などに応じ、随時内容を見直すとしています。ガイドラインは

1)全般的な感染防止対策

2)従業員向け対策

3)お客様向け対策

4)旅行業法取扱上における対策

の4項目に大きく分かれており、店舗での対応と旅行催行中それぞれの場面についての具体的な対策が記されています。

全般的な対策としては従業員と利用客、及び利用客同士の距離をできるだけ2m確保、最低1m確保し、従業員・利用客ともに店舗内でのマスク着用が推奨されています。店舗においては、待ち時間を短縮し、密を避けるため旅行相談や申し込みは事前の来店予約を推奨しています。また電話・オンライン販売への誘導やデジタルパンフレットによる事前案内などを行い、お客様との直接接触する機会を極力低減するよう業務の見直しを行うことも、推奨しています。

旅行催行中については、「三密を避ける旅程管理」として観光地でのガイドレシーバーを利用した

ガイディング、小グループに分け時間差をつけた入場を行う、旅行中に体調不良となった利用客がいたら最寄りの保健所や医療機関に相談・受診できるよう準備する、要所要所で手洗い・うがいができる適切な休憩場所を選ぶなど、きめ細かく対応策が記されています。

【6】令和3年4月28日

文部科学省 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～（2021.4.28 Ver.6）

学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～（2021.4.28 Ver.6）（[mext.go.jp](https://www.mext.go.jp)）

詳細は、上記のサイトを参照してください。

（概要等）

令和3年4月15日時点での知見をもとに、改訂されたものが公表されています。学校生活における、あらゆる局面における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理について、データに基づいて示されており、特に、子供たちが参加する企画、宿泊を伴う企画を実施する場合、参考となります。

以上

第2部 安全管理チェックシート（新型コロナウイルス感染防止対策編）

はじめに

安全管理チェックシートとは、活動を実施する際に、企画づくりから実施後の評価まで、各プロセスの各段階において、安全を確保する観点から必要な事項をリスト化し、それぞれについて実施状況の確認（チェック）を行えるように取りまとめたシートのことです。安全管理チェックリストということもあります。

（1）安全管理チェックシートの構成

近年、森林インストラクターの活動は、企画内容、場所、形態、対象も子どもたちから高齢者まで、極めて多岐にわたっています。また、FIJ3か年計画においては、特に学校教育と連携した森林環境教育の推進に取り組んでいます。したがって、総括的なリスク管理マニュアルだけでなく、活動の種別ごとに、安全管理チェックシートを是非、準備し活用することが必要といえます。

そして、これらのマニュアルやチェックシートは、継続的に見直し、活動団体やグループでしっかり共有することが大切であり、併せて、学校における新しい生活様式に合致することにも配慮したものであることが必要です。

以下に掲載している安全管理チェックシートでは、次の3段階の項目にまとめて区分しています。

I 企画段階のチェックシート

II 実施段階のチェックシート

III 実施当日のチェックシート

いろいろなケースを想定し、網羅的に作成した安全管理チェックシートが、次ページ以降のチェックシートです。

したがって、実際の活動に適用する場合は、その内容やフィールドに応じて不要な項目は削除し、もし不足している項目があれば追加し、活動に適合するチェックシートを作成して利用してください。

なお、チェックシートに追加した項目があれば、今後の安全マニュアルの見直しの貴重な参考資料となりますので、FIJ安全委員会またはFIJ事務局にお知らせ下さい。

(2) 安全管理チェックシート（新型コロナウイルス感染防止対策編）

I 企画段階のチェックシート

森林体験学習活動安全管理チェックシート（企画づくり）

年 月 日 曜 記入者名 できなかった項目数

年 月 日 曜 記入者名 できなかった項目数

（基本事項等）

- 1-1 本マニュアルの第1部 森林インストラクター活動における新型コロナウイルス感染防止対策について、確認しましたか
- 1-2 参加者の居住地に係る地域のまん延状況について情報収集するとともに、活動に関わる施設の設置者と事前に相談していますか
- 1-3 参加者の年齢構成について把握していますか
- 1-4 「感染症対策を講じてもおお感染のリスクが高い活動」として、以下のような活動は企画しないことを確認していますか。
 - ・子供が「長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」
 - ・子供同士が近距離での活動や共同で行う実験や観察
 - ・室内で子供が近距離で行う合唱及びリコーダー等の管楽器演奏
 - ・ネイチャークラフト等において子供同士が近距離で行う共同制作等
 - ・子供同士が近距離で活動する調理実習
 - ・子供が密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする運動
- 1-5 密閉・密集・密接及び大声をだすことを避ける活動フィールド・活動企画となっていますか
- 1-6 年少者が多い場合、密接を避ける方法としてグループ分けした活動計画を検討していますか
- 1-7 この安全管理チェックシートを利用するに当たって、実際に行う企画内容及びフィールドに照らして、必要に応じてあらかじめ不要な項目を削除するなどして、利用することとしていますか。

（集団生活：宿泊を伴う活動を企画する場合）

- 2-1 選定した宿泊施設は、青少年教育施設、または、教育目的の活動で子供を集団で宿泊させた実績がある施設ですか
- 2-2 原則として、「旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き」等に沿って対策を講じることとし、旅行事業者及び施設管理者等と連携して、それぞれの実情に応じて実施することとしていますか

※一般社団法人日本旅行業協会 HP「新型コロナウイルス感染症関連情報」参照
[一般社団法人 日本旅行業協会：旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き（第4版）（jata-net.or.jp）](http://www.jata-net.or.jp)
- 2-3 宿舎内でのすべての活動、「食事」、「入浴」、「就寝」、「その他の活動」について、感染防止対策が的確になされていることを、施設管理者の作成したパンフレット等について事

前に確認し、参加者の具体的な動線を実地に確認しながら、注意事項や役割分担について打合せをしましたか

- 2-4 企画実施中に体調が悪くなった子供は隔離して保護する準備ができていますか

森林体験学習活動安全管理チェックシート（場所の下見）

年	月	日	曜	記入者名	できなかった項目数
年	月	日	曜	記入者名	できなかった項目数

（移動・交通手段等）

- 3-1 実施日における交通機関ダイヤを確認して、集合前、解散後の密閉・密集・密接を避けられる場所と時刻となっていますか
- 3-2 集合場所まで車に同乗して移動する場合、移動方法の工夫等により、過密乗車とならないように配慮していますか
バス等で移動する場合、事前に運行管理者と打合せ、利用者の状況に配慮しつつ、定期的に窓を開け換気を行うこと、乗車前に家庭において検温し発熱が認められる者は乗車を見合わせる、利用者の座席を離し会話を控えることやマスクの着用について徹底すること、利用者に手洗いや咳エチケット等を徹底すること、多くの利用者が触れるドアノブ等を消毒することとしていますか
- 3-3 集合場所まで車で移動するときは外気導入のエアコンを使用することとしていますか
- 3-4 休憩施設や休憩地点は、密閉・密集・密接を避けられる場所となっていますか
- 3-5 活動場所の管理者が定める新型コロナウイルス感染防止対策を熟知し遵守することとしていますか

II 実施段階のチェックシート

森林体験学習活動安全管理チェックシート（参加者の募集-1）

年	月	日	曜	記入者名	できなかった項目数
年	月	日	曜	記入者名	できなかった項目数

（広報）

- 4-1 参加者の保護者・マスコミ関係者等から新型コロナウイルス感染防止対策について質問があった場合、回答する準備ができていますか
- 4-2 都道府県、市町村、関係機関、関係団体、施設管理者などの新型コロナウイルス感染防止のための要請に従っていますか
- 4-3 参加者募集に当たって、感染者数が特に増大している地域からの参加申込があった場合について、参加諾否の方針を明確にしていますか

（募集・受付）

- 5-1 募集パンフレットには、マスクの所持、当日朝に熱がある場合、風邪の症状がある場合は参加できないことについて記載されていますか

(文例)「当日の朝、体温が 37.5° C以上ある場合や、風邪の症状などがある場合は、参加できません」「今後、コロナウィルス感染の状況により体験活動の予定を変更または中止になる場合もありますのでご了承ください」

- 5-2 感染状況がレベル1・ステージIとは、「感染者の散発的発生及び医療提供体制に特段の支障がない段階」であること
 感染状況がレベル2・ステージIIとは、「感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階（3密環境などリスクの高い場所でクラスターが度々発生することで、感染者が漸増し、重症者が徐々に増加してくる。このため、保健所などの公衆衛生体制の負荷も増大するとともに、新型コロナウイルス感染症に対する医療以外の一般医療も並行して実施する中で、医療体制への負荷が蓄積しつつある。）であること
 を理解し、参加者の居住地がどのレベルに属しているか確認していますか
- 5-3 活動プログラムを指導する講師・スタッフ全員が、本安全管理チェックシートにより、新型コロナウイルス感染防止対策について理解していますか
- 5-4 消毒液、マスクの予備を準備していますか
 マスクの種類についてはできるだけ不織布のマスクを使用することとし、適切な装着をして使うことを推奨していますか
- 5-5 ファイスシールドは、感染防止において、マスクより劣ることを理解していますか
- 5-7 受付において、参加者の健康状態（体温・体調）を確認記録し、発熱がある場合や風邪の症状がある場合は、当日参加できないこととしていますか
- 5-8 受付場所、待機場所、集合場所等において、参加者が密閉・密集・密接及び大声になることのないよう、スペースを確保すると共に注意を喚起することとしていますか。

森林体験学習活動安全管理チェックシート（安全管理-1）

年	月	日	曜	記入者名	できなかった項目数
年	月	日	曜	記入者名	できなかった項目数

(安全管理体制)

- 6-1 プログラムのスケジュールの中で、手指等を消毒するポイントを実施計画に組込んでありますか（消毒液を使う場合は手の指先を主体に消毒することが有効であることを周知していますか）
- 6-2 特定の森林体験活動プログラム参加者・指導者から複数の新型コロナウイルス感染者が発生した場合の行動チャートについて理解していますか

森林体験学習活動安全管理チェックシート（実施の準備）

年	月	日	曜	記入者名	できなかった項目数
年	月	日	曜	記入者名	できなかった項目数

- 7-1 スタッフの健康状態を確認記録し、発熱がある場合や風邪の症状がある場合は、当日参加しないこととしていますか

Ⅲ 実施当日の運営のチェックシート

森林体験学習活動安全管理チェックシート（実施当日の運営－1）

年	月	日	曜	記入者名	できなかった項目数
年	月	日	曜	記入者名	できなかった項目数

（開始時）

- 8－1 参加者名簿に基づき、参加者を確認し、健康状態を再確認していますか
- 8－2 新型コロナウイルス感染防止の観点から、グループの編成は適正ですか
- 8－3 スタッフ及び参加者が近くで大声を出さないよう注意を喚起していますか
- 8－4 活動スケジュールの中で、手指の消毒を行うポイントを参加者に説明していますか

森林体験学習活動安全管理チェックシート（実施当日の運営－2）

年	月	日	曜	記入者名	できなかった項目数
年	月	日	曜	記入者名	できなかった項目数

（実施中）

- 9－4 統括責任者は、新型コロナウイルス感染防止の観点で、グループ全体を逐次把握するよう努めていますか
- 9－5 スタッフは、活動プログラム実施中に、密閉・密集・密接とならないよう適切に指導していますか
- 9－6 道具を使用する場合、参加者の距離の確保、手指の消毒など、感染防止対策を講じていますか
- 9－7 密閉・密集・密接及び大声になる恐れがあるポイントを予想し、必要な指導スタッフを配置するなどの対策を講じていますか
- 9－8 自由時間（昼食・入浴・就寝など）で、マスクをはずす場合、人と人との距離を確保し、対面で話をしないよう、その都度分担を決めるなどにより、注意喚起することとしていますか
- 9－9 昼食等は原則として弁当を各自が持参することとし、飲食は風通しのよい場所や野外で取るよう計画していますか
- 9－10 参加者が互いに交流する自由な時間には、マスクをしたうえで、密集・密接にならないよう注意喚起していますか
- 9－11 参加者同士が資料や食べ物を手渡ししないよう注意喚起していますか
- 9－12 スタッフは、活動資材を手渡しする前後に、手指等を消毒することを確認していますか

森林体験学習活動安全管理チェックシート（実施当日の運営—3）

年	月	日	曜	記入者名	できなかった項目数	気、
年	月	日	曜	記入者名	できなかった項目数	

（終了時）

- 10-12 子どもたちの作品がある場合、参加者同士で触れ合わないよう注意喚起していますか
- 10-13 活動中におきた、新型コロナウイルス感染防止の観点でヒヤリ・ハットの事例をスタッフから聞き、記録していますか
- 10-14 施設や備品などの後始末の作業終了時、手指等を消毒することとしていますか
- 10-15 活動後のスタッフミーティングの際、密閉・密集・密接及び大声にならないようにしていますか
- 10-16 保護者等に対し、万一、一週間以内に、参加者または参加者の濃厚接触者において感染経路不明の新型コロナウイルス感染が確認された場合には、連絡するよう保護者等に依頼をしていますか

（複数の新型コロナウイルス感染者発生確認時の対応）

森林体験学習活動安全管理チェックシート（新型コロナウイルス感染発生への対応）

年	月	日	曜	記入者名	できなかった項目数
年	月	日	曜	記入者名	できなかった項目数

（複数の新型コロナウイルス感染者発生時）

- 11-1 特定の森林体験活動のプログラムの参加者において、複数の新型コロナウイルス感染者が確認された場合は、直ちに支部長及び本部に、緊急事態発生報告シートにより報告しましたか
- 11-2 関係機関の指示にしたがって、対応していますか
- 11-3 マスコミへの対応者を決めて対応しましたか
- 11-4 感染者の保護者・家族に感染防止対策の実施状況などをきちんと説明し、理解を得ていますか
- 11-5 感染者及び指導者グループのスタッフが根拠なく安易に謝罪することのないよう冷静に対応し、また、感染者及び指導者グループに対する誹謗中傷が発生し拡大することのないよう適切に対応し、必要に応じて関係機関の支援を得ていますか
- 11-6 感染者の回復状況など、その後の経過について把握していますか
- 11-7 世話になった関係機関に対して、謝意（礼状など）を述べていますか
- 11-8 複数の感染者の発生状況や対応状況を記録していますか
- 11-9 複数の感染者の発生に関する報告書（発生原因、対策など）を作成していますか
- 11-10 新型コロナウイルス感染に関するヒヤリ・ハットの事例を分析し、改善策について検討していますか
- 11-11 支部長及び本部に複数の新型コロナウイルス感染者が発生した場合の活動結果と改善点について報告していますか